



# のびのび若っ子

## 心からの笑顔で

副校長 井関 眞澄

新年度がスタートして、早いもので二ヶ月が過ぎました。この4月より副校長として着任しました井関眞澄と申します。緑輝く素敵な環境のもと、保護者の皆さまや地域の方々に温かく見守られている若葉台小学校に着任できましたことに、大変喜びを感じております。どうぞよろしく願いいたします。

4月、着任した初日は桜道に誘われて、学校の周りをぐるっと一周しました。新緑に囲まれた校舎、子どもたちの学びを見守るかのように建つ、彩り豊かな建物。まち全体が子どもたちを包み、生活の憩いの場となっている若葉台。整然としたまちの美しさは、私の心に深く焼き付く光景でした。自然豊かな宝物がいっぱいのこのまちをつくり、この土地を守ってこられた保護者や地域の皆さまとの出会いを大切にしたいと胸が高鳴りました。

子どもたちとの出会いは、うれしい元気いっぱいなあいさつで始まりました。テレビ放送で行った着任式で、「皆さんの元気なあいさつを待っています！」と締めくくるやいなや、その後廊下や階段ですれ違う子どもたちは、目を見ながら笑顔であいさつしてくれました。立ち止まっておじぎをする子、ハイタッチを求める子、外では一輪車に乗った子どもたちが、「副校長先生～！」と手を振って呼んでくれました。子どもたちのあふれる笑顔に「心からの笑顔」で答えていきたいと思いました。校内ではこの2ヶ月間、新1年生を迎え、学習、給食、委員会・クラブ活動、発育測定等の活動が順調に進んできました。体力テストでは、1年生とペアになった6年生が、「ここに並ぶよ。」「この運動は、こうするといいよ。」「頑張ったね。すごい！」…と声を掛けながら、しっかりと記録をとり、次の種目に向かう姿に高学年としての頼もしさを感じました。高学年から低学年へ、若小のこどもたちの素直さや優しい心、粘り強さはこうやって受け継がれていくのだなと校庭や体育館を回りながら、子どもたちのエネルギーに満たされました。若小で育まれる伝統をバトンパスする縦割り活動もこれから始動開始です。昨年度は、こういった活動がこの6月から始まったことを思うと、日々を当たり前で過ごすということがどれほど大切な営みであることかを思わずにはいられません。子どもたちが心も体も大きく成長し、笑顔あふれる学校生活を送ることができるよう。コロナ禍の中、子どもたちの健康と安全を守りながら、ピンチをチャンスに変え、子どもたちの学びのために「どうしたらできるか」を精一杯考えていきたいと思っています。

校門を一步出ると大勢の地域の方の見守りがあり、放課後や休日には子どもたちを支えるたくさんの活動があることを知りました。ともに子どもたちを育て、応援して下さる皆様に、心より感謝申し上げます。

保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ、これからもご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。



反復横跳びに挑戦！！

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』